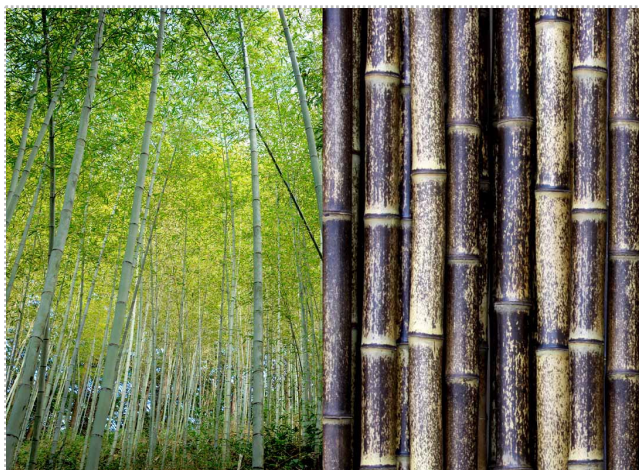


取組名称	120年に一度の虎竹開花から考える持続可能な未来ー地域の宝を次の100年へ繋ぐ			団体設立後の経過年数	131年目
応募取組主体名称	株式会社山岸竹材店	活動地域	高知県	応募取組の活動年数	131年目
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手を中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨

当社が位置する高知県須崎市安和に自生する日本唯一の虎斑竹。現在、120年に一度といわれる虎斑竹の開花が始まり、一部の竹林が枯れつつあります。創業131年の当社にとって初めての経験ですが、この貴重な自然現象をしっかり見守りながら、虎竹の魅力を発信し続けています。地域の宝である虎竹を未来へつなぐため、竹林管理、製品づくりを通して持続可能な取り組みを展開し、次の100年に向けた歩みを続けています。

実績の要旨

当社は131年にわたり、日本唯一の虎斑竹を守り育て、竹の伝統技術を次世代に継承してきました。現在は120年に一度の開花に直面しながらも、竹林を守り抜く活動を続けています。虎竹電気自動車「竹トラッカー」の製作、竹を無駄なく活用するための竹端材での竹炭製造など、国内外で竹文化を発信。地域の雇用創出や活性化にも貢献し、竹林管理に重要な山道も開拓・整備。虎竹の可能性を広げる実績を築いてきました。

取組評価の要旨	環境への貢献	樹木より成長が速くCO ₂ 吸収量が多い竹。農薬や化学物質を使わない竹林管理。竹炭製造で竹材を無駄なく活用。
	社会・経済への貢献	虎竹の製品づくりを通じて地域の雇用を創出し地域経済の活性化に貢献。よさこい祭り等に参加し地域文化を発信。
	地域資源の活用	地元須崎市安和に自生する日本唯一の虎斑竹で竹細工を製造・販売。模様が薄い虎竹や端材も竹炭に加工。
	普及・汎用性	実店舗やECサイトで竹製品を広く販売。SNSで竹の魅力発信。国内外のイベント参加、職業体験を開催し体験機会の提供。
	革新・ユニーク性	地域固有の宝である虎斑竹を130年以上守り続け、伝統技術を受け継ぎながら現代的な製品や企画へ展開。
	継続性	健康な竹を育てるための竹林管理を徹底。間引き竹や端材で竹炭を製造し、資源を循環させ持続的に活用。

展望の要旨

開花し始めた虎斑竹を次の100年へ繋ぐため竹林管理を強化。環境に優しい製品作りや情報発信により竹の可能性を広げる。